



映像とアートの国際フェスティバル

第7回 恵比寿映像祭「惑星で会いましょう」開催

平成27年2月27日(金)～3月8日(日) 10日間

今回は東京都写真美術館の改修休館にともない、美術館の建物を飛び出して開催します。ザ・ガーデンホール、ザ・ガーデンルーム、日仏会館ホール・ギャラリー、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、近隣の文化施設等を舞台に、展示、上映、ライブ、レクチャーなど多彩なプログラムを展開します。

総合テーマは「惑星で会いましょう」。「視点を変える」ことをキーワードに現在、そして未来・過去を見つめ直し、世界への今日的なアクセス方法を探します。

参加作家は、国際的な評価も高いポーランドのアーティスト、パヴェウ・アルトハメルをはじめ、実験映像の巨匠ケン・ジェイコブス、大規模な個展を開催するなど写真家として活躍するホンマタカシなど、さまざまな国や年代のアーティストが多数参加予定です。

会期： 平成27(2015)年2月27日(金)～3月8日(日) [10日間/会期中無休]

場所： ザ・ガーデンホール、ザ・ガーデンルーム、日仏会館ホール・ギャラリー、
恵比寿ガーデンプレイス センター広場 ほか

主催： 東京都/東京都写真美術館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団) / 日本経済新聞社

<問い合わせ先>

生活文化局文化振興部文化施設担当 電話03-5388-3146 内線29-430

公益財団法人東京都歴史文化財団東京文化発信プロジェクト室 電話03-5638-8805

恵比寿映像祭は、平成20年度から東京文化発信プロジェクトの一環により、映像領域と芸術領域を横断するフェスティバルとして、東京都写真美術館の全フロアを使い開催しています。

この恵比寿映像祭は、**5つの視点**を持って実施しています。

- 1 “一堂に会する” 映像祭
- 2 “芸術の側面から捉えなおす” 映像祭
- 3 “映像って何？ さまざまな作品から体験する” 映像祭
- 4 “担い手と鑑賞者が国を越えて語りあう” 映像祭
- 5 “地域「恵比寿」と共に育ち、発信する” 映像祭

2014/10/16

TOPICS 1 美術館を飛び出し、恵比寿の街へ！

第7回恵比寿映像祭「惑星で会いましょう」はこれまでのメイン会場・東京都写真美術館を飛び出し、恵比寿ガーデンプレイス周辺を舞台に開催します。

恵比寿映像祭は映像文化を国内外に発信することを目的とした、アートと映像の国際フェスティバルです。2009年に第1回「オルタナティヴ・ヴィジョンズ」を実施、2014年の第6回まで東京都写真美術館を主会場として展開してまいりました。

第7回となる今年は、東京都写真美術館の大規模改修工事による休館に伴い、美術館を飛び出し、恵比寿ガーデンプレイスを中心とした複数の会場で開催します。



第7回恵比寿映像祭「惑星で会いましょう」

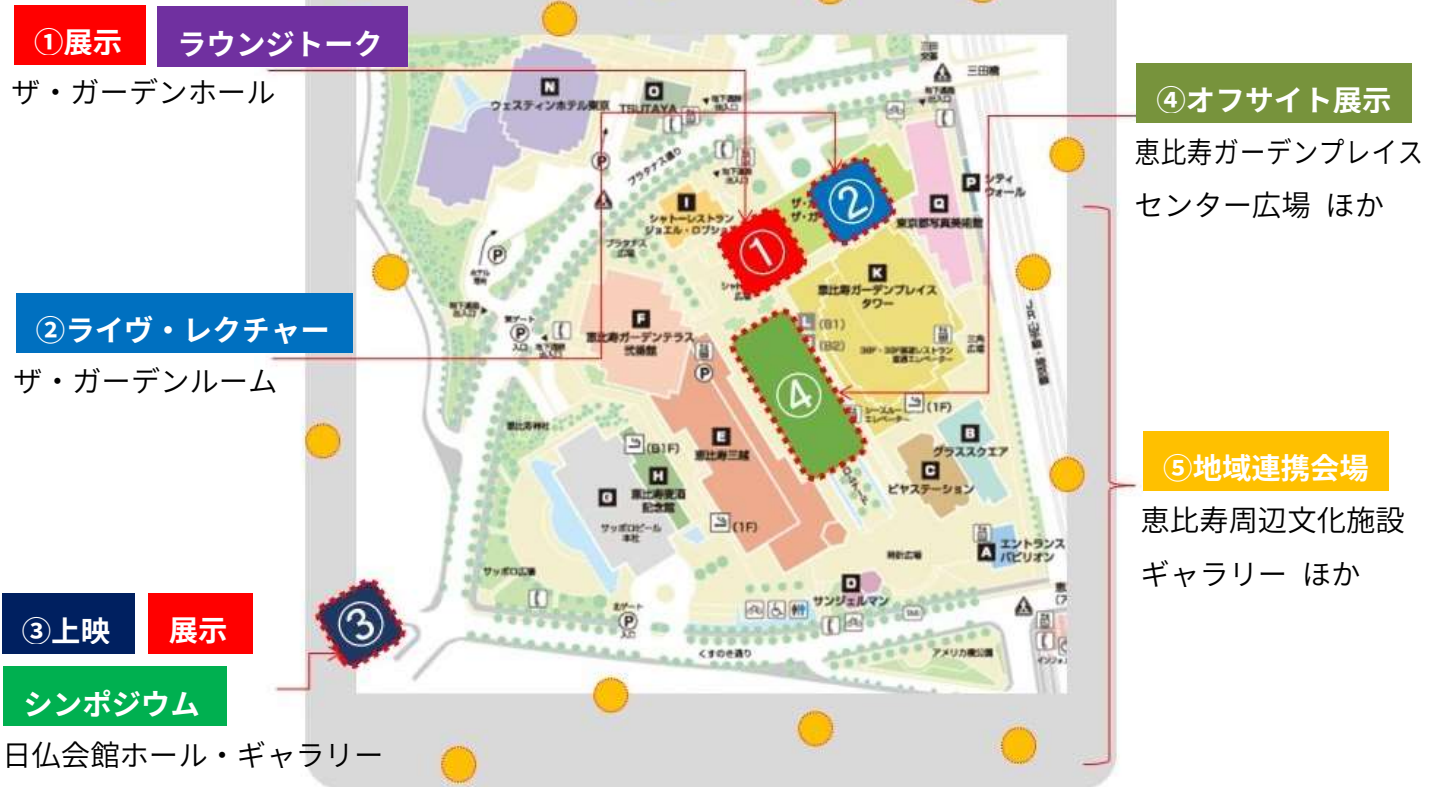
▶ 構成

- \$ ExhibitionB
- ¼ ScreeningB
- ⊖ Off-site Project
- ⊙ Symposium
- ⊖ Lounge Talk
- Å Live
- ⊖ Lecture
- j8 Partnership Program

2014/10/16

▶ 会場構成

【第7回恵比寿映像祭の会場構成案（イメージ図）】




展示 ラウンジトーク
ザ・ガーデンホール
総合テーマ「惑星で会いましょう」のもと、多様な表現の作品をご紹介します。



ライブ・レクチャー
ザ・ガーデンルーム
ザ・ガーデンルームを会場にライブ・レクチャーを開催。今年は5日間(3/2～3/6)に渡って見逃せないプログラムが並びます。



上映 展示
シンポジウム
日仏会館ホール・ギャラリー
スクリーン上映によるプログラムを日仏会館ホールにて多数お届けします。現代作家特集からテーマに関連したプログラム、ゲスト・プログラマーによる企画など、恵比寿映像祭ならではのラインナップをお届けします。



オフサイト展示
**恵比寿ガーデンプレイス
センター広場 ほか**
恵比寿ガーデンプレイスの中心にあるパブリック・スペース「センター広場」をジャック。今回は新鋭映画監督、瀬田なつきによる《5 windows》を恵比寿が舞台になった新作とともに展開します。

2014/10/16

TOPICS2 出品予定作家

展示 パヴェウ・アルトハメル (ポーランド) / ホンマタカシ (日本) / 堀尾寛太 (日本) / 久野ギル (日本・アメリカ) / 佐々木友輔 (日本) / 鈴木光 (日本) / スズキユウリ (日本) / 山口典子 (日本) ほか

上映 アデル・アビディン (イラク・フィンランド・ヨルダン) / ケン・ジェイコブス (アメリカ) / 栗原みえ (日本) / マリオ・ペイショット (ブラジル) ほか

オフサイト展示 瀬田なつき (日本)

展示 **パヴェウ・アルトハメル** | Pawel ALTHAMER

ポーランド



《共同作業》2009年
Courtesy the artist, Foksal Gallery Foundation, Warsaw, Open Art Projects, Warsaw and neugerriemschneider, Berlin

展示 **ホンマタカシ** | HOMMA Takashi

日本



ホンマタカシ「Trails」(2010年)より[参考図版]

展示 **堀尾寛太** | HORIO Kanta

日本



《電気と光の紐付け》2014年 [参考図版] 写真: 小山田邦哉

展示 **久野ギル** | Gil KUNO

日本・アメリカ



《Haze》2012年

展示 **佐々木友輔** | SASAKI Yusuke

日本



《土漚青 asphalt》2013年

展示 **鈴木光** | SUZUKI Hikaru

日本



《Mr. S & DORAEMON》2012年

展示 **スズキユウリ** | SUZUKI Yuri

日本



《Garden of Russolo》2013年

展示 **山口典子** | YAMAGUCHI Noriko

日本



《KEITAI GIRL》2004年 Courtesy MEM

上映 **アデル・アビディン** | Adel ABIDIN

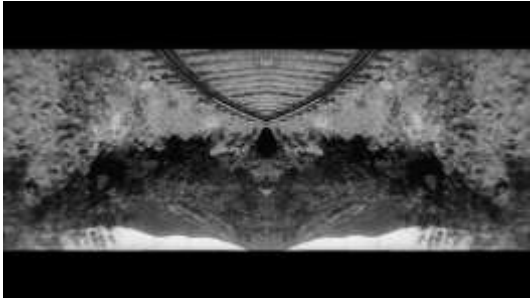
イラク・フィンランド・ヨルダン



《戦争の消費》2011年

上映 **ケン・ジェイコブス** | Ken JACOBS

アメリカ



《ディスオリエント・エクスプレス》1996年

上映 **栗原みえ** | KURIHARA Mie

日本



《雲とか虫とかテツジョウモウ》2014年

上映 **マリオ・ペイシヨット** | Mário PEIXOTO

ブラジル



《限界》1931年

**オフサイト
展示** **瀬田なつき** | SETA Natsuki

日本



《5 windows》2011・2012年

2014/10/16

TOPICS3 地域連携プログラム

－恵比寿の街が映像とアートに染まる－
地域の文化施設・ギャラリーとお贈りする
個性豊かなプログラム

第3回恵比寿映像祭より実施しています「地域連携プログラム」。恵比寿地域に点在するたくさんのギャラリーと共に「惑星で会いましょう」のテーマを共有し、それぞれ独自の視点で個性あるプログラムを展開します。街を舞台に開催する今回では新たな参加施設が加わるほか、点在する会場をつなぎ、より深く恵比寿映像祭をお楽しみいただける「フェスティバルツアー」を実施。恵比寿の街が映像とアートで染まります。

参加予定施設

公益財団法人日仏会館、NADiff a/p/a/r/t、MEM、G/P gallery、TRAUMARIS、POST、amu、waitingroom、NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT / エイト]、伊東建築塾、MA2Gallery、GALLERY 工房親、MuCuL スタジオ



NADiff a/p/a/r/t

MEM



POST

a m u

waitingroom



MA2 gallery



恵比寿映像祭に関するお問合せ (※11月30日まで)

東京都写真美術館 恵比寿映像祭 広報営業マネージャー 小仲 (こなか)

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

電話：03-3280-0076 / ファクス：03-3280-0033 / e-mail：yebizo_press@syabi.com

プレスに関するお問合せ

恵比寿映像祭 プレス担当 平 (たいら)、望月 (もちづき)

電話：090-1149-1111 / ファクス：03-3468-8367 / e-mail：info@tmpress.jp

広報用写真

本リリースで使用している写真は全て広報用画像としてご用意しております。

① 希望画像の作品名、②媒体名、③掲載予定時期を表記の上、プレスお問合せ先までご連絡ください。